

西小だより

学校の教育目標:よく考え 仲間とともに やりぬく子 合い言葉 ” Yes, we can. ”



豊かな表現力を身につけた子に

校長 岩崎 千宏

今年の運動会は、台風18号の接近に伴い平日開催となってしまいました。皆様方のご理解・ご協力のお陰で清々しい秋空のもと子ども達の瞳輝く感動いっぱいの「運動会」となりました。

2学期がスタートしてから間もない期間でしたが、限られた時間の中でそれぞれの学年の演技や種目、応援等の練習に懸命に取り組み、その成果を存分に発揮してくれました。子ども達と共に汗してきた職員も、子ども達の躍動感あふれる表現や最後まで歯を食いしばる姿、係の仕事をやりぬく姿、たとえ負けていても仲間を温かく応援する姿などに、これまでの苦労を吹き飛ばすような喜びを受け取りました。きっと参観して下さった保護者の皆様も、たくましく成長したわが子の姿がまぶしく瞳に映ったことと思います。

ご多用にも関わらずご臨席を賜りましたご来賓の皆様、疲れ切って帰宅するわが子を励まし続けて下さった地域や保護者の皆様、運動会の準備や片付け等に尽力いただいたPTA役員をはじめ関係各位にも心より御礼申し上げます。

さて、早いもので年度の折り返し点となりました。これまでの本校の歩みを振り返るとともに年度末にめざす「子ども像」に一步でも近づけるよう、新たな目標設定をして後期の歩み出しをスタートします。とりわけ、運動会で見せてくれた「豊かな表現力」を日常の授業や活動の中でも発揮できるよう指導を重ねていきたいと考えております。



それぞれの家庭におかれましても、子ども達が主体的に「読む」「書く」「話す」といった自己表出ができる機会を意図的に設けていただき、その子ならではの表現ができたときにそのよさを存分に認め励ましていただけると幸いです。子ども達が安心して自分らしさを発揮し、そのことが周囲に認められれば、子ども達は「自己有用感」や「自尊感情」を高め、自信や誇りをもって自己表現する子に育っていくものです。

子ども達が安心して自分らしさを発揮し、そのことが周囲に認められれば、子ども達は「自己有用感」や「自尊感情」を高め、自信や誇りをもって自己表現する子に育っていくものです。

2学期より、本校では岐阜県教育委員会が推進する「働き方改革2017」を受けて、会議や出張が少ない日に午後6時までに退校する取組を実施しています。学校への電話連絡や相談等につきましては、できる限り午後6時までにいただけますと幸いです。各種報道等で課題となっている「教職員の勤務の適正化」に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。